

# 図書館だより



令和6年 5月号  
一条中学校図書館

学校生活が始まって1か月が過ぎ、少しずつ新しい生活にも慣れてきた頃でしょうか。  
学校図書館に来館する生徒も増えてきました。

今年度は久しぶりに個人カードでの本の貸出が再開しました。みなさんスムーズに貸出手続きをしています。貸出手順に不安があるときには、図書委員もしくは、図書の先生に聞いてくださいね。

1年生は、図書館利用に関するオリエンテーションの日程を調整していますので、もう少し待っていてください。

## 読書記録について



読書記録「私の読書日記」の活動が始まりました。

読んだ本を記録しておく、読書を振り返るときに便利です。

いつどのような本を読んだのかだけではなく、よく読む本や著者、ジャンルのほか、シリーズ本を確かめるときにも役に立ちます。

記録はときどき見直して、これからの読書生活に活かしましょう。

## ○どのようなことを書くのかな

「書名」、「著者」、「一言感想（読書メモ）」、「読んだ日」、「おすすめ度」を記録します。

学校で読んだ本だけでなく、家で読んだ本も記録していきましょう。

同じ本を読んでいる場合も、続けて読んでいることが分かるように記録をしましょう。

「一言感想（読書メモ）」は、本を読んで感じたこと、気が付いたことなどを簡単に書きます。一言でも感想を書くことで自分の考えが整理されますよ。

## ○いつ書くのかな

毎週金曜日の朝の読書の時間に、1週間分の読書をまとめて記録します。

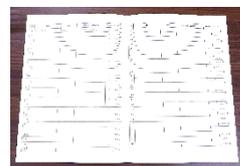
記録用紙は図書委員が配付し回収しますが、こまめに記録をしたい人は、教室に保管しているファイルから記録用紙を出して、記録が終わったらファイルに戻しましょう。

## ○賞などはあるのかな

1年間熱心に取り組んだ生徒へは、年度末に図書委員会から「読書日記賞」を授与する予定です。

昨年度は表彰状と景品が贈られました。

記録用紙が終わったら、図書委員もしくは、図書の先生に知らせましょう。新しい用紙を差し上げます。



教室ではこのように保管します。



## お知らせ

一条中学校図書館のクラスルームを開設しました。生徒のみなさんを全員招待しましたので、まだ入っていない人は参加してくださいね。

毎月紙で発行している「図書館だより」も、クラスルームでも見るができるように投稿していきます。端末で読みたい人はクラスルームでご覧ください。



## ☆すごいぞ“朝読”（あさどく）

一条中学校では、毎朝10分間読書を行っています。（朝会のある水曜日、定期・実力テスト当日を除く）朝読は、みんなで行うことで、家や1人では本を読む気持ちにはなれない人も本を読む機会になります。短時間でも毎日読むことで、読む力が養われます。好きな本（朝読は漫画、雑誌以外）を選び読むことで、興味を抱き、主体性を育みます。さらに、1日の学校生活を読書によって心を落ち着かせてから始めることができるため、授業中の集中力が増します。

朝読に、こんなにたくさんの効果や好影響があるなんて、すごいと思いませんか。

朝読の時間を有効に使うためにも、開始時刻の8時15分には自席で読書を始めましょう。

朝読用の本は、学校図書館で借りることもできます。ぜひ利用してください。

## ☆知っていますか“家読”（うちどく）

“家読”（うちどく）とは、家族で読書をする習慣を共有し、コミュニケーションを深める取り組みです。難しいきまりは無く、家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本の感想を話し合い、お互いに本をすすめるなど、家族で読書を楽しむことができれば家読になります。

読んだ本やおすすめの本について家族で話しをしてみませんか。

## 図書委員会の活動が始まりました

### 学級文庫を利用することができます

学校図書館の本を各学級へ20冊貸し出す学級文庫の活動が始まりました。

朝の読書や教室での読書に利用しましょう。

本は定期的に入れ替えますので、学級文庫に入れて欲しい本は、図書委員に知らせましょう。毎週金曜日には図書委員が本の有無を確認します。本の取り扱いに注意して利用しましょう。

#### \*利用上の注意

- 本は教室の中で利用し、利用後は速やかに箱に戻します。
- 読んでいる途中の本も、机やバッグには入れません。
- 本を教室外へ持ち出すことはできません。



専用の箱に入れて教室へ貸し出します。学級文庫として貸し出す本のジャンルは決まっていないため、読書に最適な本、教科書に掲載されている本、学習に関する本、健康や心に関する本、まんがやアニメのノベライズ、休み時間にも楽しめる娯楽的な本、絵本などをクラスの図書委員が選んでいます。

### リクエスト受け付け中

学校図書館に入れて欲しい本を図書委員が調査しています。

学校にあったらいいなという本は、5/16（木）までに各学級の図書委員に知らせましょう。

学校図書館でも毎日受け付けています。

### 保護者の方へ ～“家読”（うちどく）について～

家読とは、家族で読書習慣を共有し、家族間のコミュニケーションを深めることを目的とした活動です。

取り組み方法にきまりはありません。家族みんなで好きな本を読んで感想を話し合い、お互いに本をすすめるなどがあげられます。日常会話の中で、以前読んだ本やおすすめの本を話題にしても良いですね。読んだ本の感想も家族間で共有してみましょ。お子さんの成長に気が付く機会にもなりますし、お互いの考えや視点を共有することで、家族の絆も読書も深まります。

ぜひ、家族間のコミュニケーションの1つとして、家読を始めてみませんか。